

英語科学習指導案

柏原市立堅上中学校

JTE 上田和己

ALT Andre Wilson

1. 日時 平成 25 年 11 月 1 日（金） 第 6 時限 14 時 30 分～15 時 20 分
2. 場所 柏原市立堅上中学校 2 階 第 3 学年教室
3. 学年 第 3 学年（11 名）男子 6 名 女子 5 名
4. 単元名・使用教科書

Lesson 5 USE Mini-project 日本紹介

（三省堂 New Crown English Series 3）

5. 単元目標

- ・ 関係代名詞について正しく理解し、運用する。
- ・ 関係代名詞を使って、日本の調度品などを紹介する英文を 4 文以上書くことができる。
- ・ 関係代名詞を使って、日本の文化や日本文学、日本の歴史上の人物などについてプレゼンテーションをすることができる。

6. 教材観

- ・ 本課では、中学 3 年生の健が自宅にクラスメートを招いて、和室と部屋の中にある物を英語で説明している。普段何気なく使っている、日本家屋や日本の調度品について外国人に説明することにより、改めて日本の良さに気づき日本に誇りを持てる機会にしたい。

パート 1 では、健のクラスメートが健と一緒に健の家に遊びに行く途中の場面設定で、家の外観について話をしている。

パート 2 では、健が彼らを和室に通して和室について説明をしている。

パート 3 では、健が彼らに和室の中の調度品について説明をし、それらの快適さなどについて話をしている。

- ・ 言語材料では、関係代名詞の主格と目的格について学び、身の回りにあるものについて説明をする。関係代名詞が使えるとより具体的に説明をすることができるので、プレゼンテーションにおいて積極的にコミュニケーションを図らせたい。

7. 生徒観

全体で 11 名と、とても少ない人数である。彼らはとても繊細で、優しく素朴である。しかし周りとの協調が何よりも必要とされる環境にいたので、自分の考えや意見を発言をする習慣がない。学習意欲はあるが、その意欲を人に見せることをためらう傾向がある。しかし授業以外においても一人ひとりの生徒と会話をし、穏やかな雰囲気と接していると、優れた能力と個性を持っていることがわかる。2 学期の行事を彼らは 3 年生として立派に成功に導いた。そのことにより、達成感を得て自信を持ち始めている。その経験を英語学習においても伸ばしていきたい。その為には間違いを恐れずに、自分の考えや意見を人前で述べる体験を多く積ませて、自信を持たせていきたい。

8. 指導観

学習した英語を、間違ふことを恐れずに人前で使うように学習態度を育てたい。その為には、新出文法が使えるような場面を設定して英文を作成し、その文を暗唱して言えるようにしている。ALT との授業では、それらの英文を会話やプレゼンテーションにおいて使う機会をたくさん設定している。コミュニケーションの基礎力を養い強化していきたい。

9. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・ALT のプレゼンテーションを聴く時、頷くなどして一生懸命に聴きとろうとしている。・プレゼンテーションの原稿を書く時、よく考えて何度も書き直したり、調べたりして書いている。・プレゼンテーションをする時、話す内容と場面に応じて声の大きさを調節したり、話し方を変えたりして話そうとしている。・プレゼンテーションをした後、ALT の質問に対してジェスチャーなども使って答えようとしている
理解の能力	<ul style="list-style-type: none">・クラスメートや ALT のプレゼンテーションを聴いて、正しく理解できる。・日本についての英文を読んで、正しく理解できる。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none">・関係代名詞を使って日本の調度品を紹介する文を 4 文以上書くことができる。・日本の文化などのプレゼンテーションをする時、原稿を見ずに絵や写真などを使って、正しく ALT に伝えることができる。・クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、自分の感情や意見を簡単な英語で述べることができる。
言語や文化に関する 知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・関係代名詞（主格・目的格）の用法を、正しく理解している。・日本の家屋や調度品について改めて考え、その良さに気づき、日本文化を理解している。

10. 本課の指導と評価の計画（全5時間） = 活用の時間 =

時	生徒が学習する主な内容	主な評価規準
第1時	<p>ALT の自己紹介を聴いて質問を2つ以上考えて書く。</p> <p>自己紹介をした後、ALT への質問をして、短い会話をする。</p> <p>日本の調度品を説明する英文を、関係代名詞を使って4文以上書く。</p> <p>書いた英文を原稿を見ずにALTに伝える。</p> <p>集めた資料を元に、自分たちのプレゼンテーションの内容を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT の自己紹介を聴く時、頷くなどをして一生懸命に聴こうとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・ALT への質問と日本の調度品を説明するまとまった英文が4文以上書ける。【表現の能力】 ・ALT との会話や日本の調度品を説明する時に、原稿を見ずにジェスチャーなどを使って、正しく伝えようとしている。【表現の能力】
第2時	<p>プレゼンテーションの原稿を日本語で書く。</p> <p>日本語の原稿を辞書などを使って、英語にする。</p> <p>プレゼンテーションの方法を考え、必要なものを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの原稿を、教師に聞いたり教科書を見たり、辞書で調べたりして作成している。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
第3時	<p>ALT のプレゼンテーションを聴く。</p> <p>ALT への質問と自分の感想を表す英文を2文以上考えて書く。</p> <p>その質問と自分の感想を英語で伝える。</p> <p>ALT のプレゼンテーションを参考にして、自分たちのプレゼンテーションの原稿を書き変えたり、付け加えたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT のプレゼンテーションを聴く時、頷くなどをして一生懸命に聴こうとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・ALT への質問と自分の感想を、英語で2文以上書くことができる。【表現の能力】 ・ALT への質問と自分の感想を英語で話す時、原稿を見ずにジェスチャーなどを使って、正しく伝えようとしている。【表現の能力】
第4時	<p>自分たちのプレゼンテーションの原稿を書き変えたりして仕上げる。</p> <p>プレゼンテーションのリハーサルをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの原稿を、教師に聞いたり教科書を見たり、辞書で調べたりして作成している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・ペアでプレゼンテーションをする時の立ち位置や声の大きさや、資料を提示するタイミングなどについて何度も相談している。
第5時 (本時)	<p>原稿を見ずに絵や写真などを使ってALTやクラスメートにプレゼンテーションをする。</p> <p>プレゼンテーションの後、ALTの質問に答える。</p> <p>クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、感想や意見を簡単な英語で述べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見ずに、ペアで協力をしてALTやクラスメートに正しく伝えようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、自分の感想や意見を簡単な英語で伝えようとしている。【表現の能力】

1 1. 本時の展開

(1) 本時の目標・ねらい

- ・ALT やクラスメートに、原稿を見ずに絵や写真などを使って日本の文化や日本文学、日本の歴史上の人物などについてプレゼンテーションをする。
- ・クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、自分の感想や意見を簡単な英語で述べる。

(2) 本時の評価規準

- ・ALT やクラスメートに、日本の文化や日本文学、日本の歴史上の人物などについてプレゼンテーションをして内容が正しく伝わるように意識して話している。
- ・クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、自分の感想や意見を簡単な英語で述べることができる。

(3) 本時の学習過程

	学習内容・生徒の活動	教師の活動・支援、留意点		評価
		JTE	ALT	
導 入	1. ウォームアップ ・挨拶など。 (2分) ・英語の歌を歌う。 (4分)	生徒がリラックスして話したり、歌ったりできるように支援をする。	一人ひとりへの質問をクラス全体に広めるように、会話をつなぐ。 大きな声で生徒が歌えるようにリードする。	
展 開	2. プレゼンテーションの進め方の確認。 3. ペアでプレゼンテーションする。 4. プレゼンテーションをした後、ALT の質問に答える。 5. クラスメートのプレゼンテーションを聴いた後、自分の感想や意見を簡単な英語で述べる。 (43分)	プレゼンテーションのポイントを短く確認する。 生徒がプレゼンテーションをする時、生徒の側で支援をする。 生徒の良い意見を取り上げて、発表を促す。	メモの取りながら生徒のプレゼンテーションを聴く。 生徒を具体的に評価し、1ペアにつき2つ程質問をする。	ALT やクラスメートに、日本の文化などについてプレゼンテーションをして内容が正しく伝わるように意識して話している。 クラスメートのプレゼンテーションを聴いて、自分の感想や意見を簡単な英語で述べる。
ま と め	6. まとめ (1分)	生徒のがんばりをしっかりと評価する。 次の授業の連絡をする。		